

周南地域の野犬問題に関する連絡協議会（第6回会議）の開催について

周南地域の野犬問題解決に向け、関係者間の円滑な連携を通じて、実効性のある取組を推進するため設置した、周南地域の野犬問題に関する連絡協議会の第6回会議を次のとおり開催しました。

1 日時

令和2年9月2日（水曜日） 午前10時から午前11時10分まで

2 場所

山口県周南総合庁舎4階401会議室

3 出席者

委員	備考
山口県環境生活部審議監	会長
周南市環境生活部長	副会長
周南市環境生活部環境政策課長	
周南市都市整備部公園花とみどり課長	
周南市教育委員会学校教育課長	
山口県周南警察署生活安全課長	
山口県周南環境保健所副部長	代理
山口県周南環境保健所生活環境課長	
山口県環境生活部生活衛生課長	事務局

4 概要

会議では、各機関が取組状況を報告し、課題を整理した上で、今後の対応について協議しました。

(1) 取組状況と成果

ア 野犬の捕獲強化 [県]

○巡回調査・捕獲

・野犬出没地域の巡回調査、囲い檻等による捕獲を実施（2人/班）

○より広域的な捕獲対応

・大型囲い檻7基（県4基、市3基）を周南緑地付近に設置（R1.8～12月）

・周南緑地周辺の対応を継続しつつ、市内の苦情多発地域に大型囲い檻を設置（R2.1月～現在）

【実績】

□周南市内：前年同期（H30.8月～R1.7月）との比較

・捕獲頭数は、前年同期から微増（792頭 → 811頭）

〔成犬捕獲：前年同期の約1.3倍（125頭 → 163頭）〕

- 周南緑地（大迫田墓地を含む）：前年同期（H30. 8月～R 1. 7月）との比較
 ・捕獲頭数は、前年同期の約 1.4 倍（248 頭 → 338 頭）
 【 成犬捕獲：前年同期の約 4.5 倍（15 頭 → 68 頭） 】

《R 1. 8月～R 2. 7月の捕獲実績》

区 分	R 1. 8月～R 2. 7月	H30. 8月～R 1. 7月
周南市内	8 1 1 (1 6 3)	7 9 2 (1 2 5)
周南緑地	3 3 8 (6 8)	2 4 8 (1 5)

() 内は成犬で内数

イ 野犬への餌やり行為等への対策 [市]

① 餌やり禁止パトロール

むやみな餌やり禁止や飼犬の遺棄防止等のため、大迫田墓地や周南緑地を中心に、巡回・指導を実施し、むやみな餌やり行為を抑止

○日中パトロール

- ・体制 市職員 2 名
- ・回数等 195 回（R 1. 8. 1～R 2. 7. 31）

【実績】

- ・餌やり注意 8 回、餌回収 18 回

○夜間パトロール

- ・体制 県及び市職員 延べ 144 人
- ・回数等 42 回（R 1. 8. 1～R 2. 7. 31）

【実績】

- ・餌やり注意 5 回（うち指導指示書手交 1 回）、餌回収 1 回

② 公園・墓地内の管理強化

○車止めの補修・新設

- ・むやみな餌やり行為の抑止のために園路車止めの補修・新設を実施

○野犬が棲みにくい環境づくりのための草刈り（27,000 m²）

○大迫田共同墓地内への夜間進入禁止措置

- ・入口 2 か所に車止めを新設

ウ 野犬対策への県民の理解促進と気運醸成に向けた取組 [県・市]

○啓発活動の実施

- ・R 1. 8. 5 J R 徳山駅南北自由通路
- ・R 2. 1. 25 イオンタウン周南久米店、セブンイレブン周南栗屋店

○周南総合庁舎、市役所、警察署の窓口等に啓発ティッシュを配置

○周南地域の野犬の現状に関するマスコミ取材に協力

○ホームページ（HP）等による野犬対策や捕獲犬の譲渡の取組を積極的に P R

- ・県HPに周南地域の野犬対策のサイトを設置
- ・市HPによる周南市の野犬情報の発信
- ・保健所での犬・猫の譲渡について市広報誌への情報掲載

(2) 課題と今後の対応

ア 野犬の捕獲継続 [県]

- ・周南緑地における野犬出没は減少したが、対策の継続が必要
⇒ 周南緑地での捕獲を継続
- ・周南緑地以外でも継続的に野犬苦情発生
⇒ 野犬出没地域において、大型檻の活用等により捕獲を強化

イ 野犬情報の収集と発信 [市]

- ・電話等による野犬情報の連絡では、現地で確認できないことが多く、情報の集約や市民への情報発信も困難
⇒ スマートフォンアプリ「しゅうなん通報アプリ」を活用し、野犬情報を収集・発信

ウ 野犬への餌やり行為等への対策 [市]

- ・引き続き、むやみな餌やり行為への対策が必要
⇒ 関係機関が連携したパトロール等を継続
- ・草刈りにより、野犬が棲みにくい環境づくりの効果が出ている。
⇒ 周南緑地、大迫田墓地周辺5,000 m² + 随時分5,000 m² (合計10,000 m²)

エ 野犬対策への県民の理解促進と気運醸成に向けた取組

- ・野犬対策キャンペーンにより、むやみな餌やりは「良くないこと」であるとの認識が市民に広がってきている。
⇒ 新南陽地区で野犬対策キャンペーンを実施 (10/17)

(3) その他

次回会議の開催時期は、今後の取組状況等を踏まえ、関係機関で協議